

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

箕沢地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

第6地区は根岸森林公園や根岸競馬場跡などの自然と歴史が共存する地域で、急坂や階段や狭い道が多く、高齢者や障害者等にとってアクセスは良くない環境ですが、自治会・町内会を中心に住民が相互協力し合える環境が根付いている土地柄で、各種団体が活発に活動しております。

包括支援センターでは積極的にアウトリーチ活動を行い、どこにお住まいの方でも適切にサービスを提供する事を基本的な考え方としておりますが、男性高齢者の単身世帯の相談支援では、初回相談時にケアプラザでは情報が無く、民生委員や近隣の方が状況を把握されているという事もあり、民生委員や町内会役員や住民等にケース会議に参加協力をいただき支援しました。人との交流が難しい等の課題もありますが、介護予防や見守りに繋がるよう活動場所や機会を町内会と検討する事や、認知症の理解、『介護者の集い』等、区と連携を図り取組む事が重要だと感じております。

6月に「元気づくり推進協議会」が設立し、連合町内会や各団体が一丸となって取組み、8月にアイデア満載の『盆踊り大会・縁日』が43年ぶりに開催されました。まちなかプロジェクトが作業部会の位置づけとなり、地域活動の継続および活性化や次世代の担い手発掘等に繋がる第一歩になりました。

地域福祉保健計画の推進として、イベントカレンダーの掲載団体が増え、年間計画を作成するにあたり大きなイベントが重ならないように工夫する事ができました。地域支援チームにて情報を共有し、誰もが住み慣れた地域で過ごせる地域づくりに向けての後方支援を続いたします。

(1)相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

育て関係の相談は、主任児童委員や子ども家庭支援課に情報提供し、関係機関と連携を図りながら支援につなげる事ができました。また、子育てサロンで相談や情報提供を行いました。

自主事業で高齢者に詐欺予防への注意喚起や、個別に見守りキーホルダー等の取組み、講座や活動の情報をお伝えしました。

中区障害者自立支援協議会の精神障害者の支援に関わる人同士、顔が見える関係になる為の研修会に参加しました。必要に応じて、基幹相談支援センター職員と連携し安心感につながりました。

(2) 各事業の連携

箕沢サロン、地区社協サロン、地域福祉保健計画等を協働して取組みました。また、事業所会議にて情報共有を図り、新たにお気軽ランチ(自主事業)を月1回のペースで開催する事になりました。高齢者同士の交流の機会として無理なく参加でき、会話を楽しみながら食事をすることにより介護予防を目指しています。ケアプラザ祭りにまちなかプロジェクトの参加により、これまでの各サロンの作品発表および、健康チェックコーナーで介護予防の意識付けに加え、ゲームコーナーで飛行機作りをきっかけに顔が見える関係にもつながりました。

老人会からの希望に応じて地域ケアプラザの機能紹介や、お気軽ランチをケアプラザの自主事業として開始する事ができました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

人員体制については、法人本部、公的・民間の求人情報機関等を活用して体制を維持する事ができました。

年間計画に沿って、各事業に必要な研修に参加しました。

法人研修としては、新人、中堅、管理職と階層別研修としてマナー研修、人権研修、ハラスメント予防研修等に参加しスキルアップを目指しました。

職員会議では各職員の取組情報を共有しており、リスクマネジメント委員会では事故やヒヤリハット事例を振り返り、事故の再発予防に努めました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

第3期計画の重点目標である“地域の「見守り力」を高めます”、“まちぐるみで「健康づくり」をめざします”を実現する為、地域行事や集い等へ参加し、顔の見える関係作りを取組みました。

障害児余暇支援事業を夏季・冬季に開催し、交流の機会となりました。また、近隣の保育所や小学校と連携し事業所訪問による交流や、近隣の薬局での実習生をデイサービスにお招きし高齢者との交流の機会を提供し、ケアプラザの機能を説明しました。

子育てサロンの開催時、子ども家庭支援課、子育て支援者、主任児童委員、地域ボランティアとの情報交換を行う事で、見守り・支え合い体制を継続しました。また、警察署や消防署と連携し、防犯や防災の注意喚起を行いました。

地域ケア会議では町内会役員や業者の他、郵便局、行政機関等に参加いただき支援の連携を図る事ができました。

(5) 区行政との協働

個別ケースの対応について、定例カンファレンスだけでなく必要に応じて情報共有し、困難事例の問題解決に向けて取組みました。

毎月ケアプラザにて区、区社協、ケアプラザで地域支援チーム会議をもち、情報の共有及び新たなネットワーク構築のための連携を図っています。6月に設立された元気づくり推進協議会の一員として参加し、地区別計画の推進母体である『まちなかプロジェクト』の位置づけが明記されました。

「中なかいいネ」のイベントカレンダー作成にあたり、馬の博物館や森林公園の管理業者である横浜植木等と連携を図り、可能な範囲で日程調整により年間計画を作成する事ができました。ケアプラザ祭りにまちなかプロジェクトや地域の福祉保健活動団体等のボランティアが参加され、地区別計画の推進に取り組みました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

一人で昼食をすませる高齢者の話を多く聞き、今年度からお気軽ランチを開催する事になりました。サロンとなると昼食準備が負担となる為、持参いただく事で誰でも参加しやすい形とし、気軽に参加できる集いの場所を増やす事になりました。

障害児余暇支援事業の目的はレスパイトケアではなく、地域への理解・啓発であり、成長過程でケアプラザを活動拠点や仲間と相談できる場所になり得るように開催しています。その他、エリア内の小学校へ訪問やケアプラザ祭での交流等、多角的に携わっています。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館利用状況表をエレベーター横に設置し、目立つように工夫しました。また、館内に空き情報を掲示するとともに、各団体が有効に貸室を利用できるよう、利用時間や部屋の調整を行いました。

貸館利用の囲碁将棋サークルに協力を仰ぎ、夏季休暇中に小学生対象の囲碁将棋教室を開催しました。小学生と高齢者との交流や子供たちの居場所となりました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

中区6ケアプラザと中区社会福祉協議会共催でボランティア講座を行い、初めて講座に参加した団体がありましたが、自主事業にはつながりませんでした。

貸館団体に呼びかけ、お掃除交流会を実施しました。中区社会福祉協議会を拠点とする生活支援ボランティアK B Tに協力を仰ぎ活動紹介し、活動参加に繋がりました。

中学校の職業体験を受入れ2日間元気に活動いただいた事を学校にお伝えし、今後のボランティア活動の提案をしました。

ヨコハマいきいきポイント制度を継続して取入れ、個人ボランティアとしてデイサービスで活動いただく事になりました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

民生児童委員、保健活動推進員、友愛委員交流会にてケアプラザの機能を再度説明し、活用のご案内をしました。また、各団体が有効に貸室を利用できるよう時間や部屋を調整しました。

消費活動推進員による出前講座をエリア内のシニアクラブにご案内し、活動中に講座を開催しました。クーリングオフの方法に関心を持って聞かれていました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

元気づくり推進協議会とまちなかプロジェクトが連携し、それを地域支援チームが支援する体制が取れるようになりました。このことで、広範囲で多様性のある取組みを地域が一体となって行えるようになりました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

『地域で見守りを考える取組み』について提案して、まずは特定の自治会と協議体を開きました。会長や役員の方々と方向性を確認し、地域の現状把握をするための取組みを行いたいというニーズを支援することになりました。今後、その取組みの中で地域住人の現状やニーズを共同（支援）して調査することになります。

(3) 連携・協議の場

特定の自治会町内会へ『地域で見守りを考える取組み』について提案して会合（協議体）を2回開催しました。その中で会長や役員の方々と方向性を確認し今後の取組みを継続支援することになりました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

地域の支え合いに関わる内容の講座を中高年者と高齢者を対象に計画し開催します。取組み方法は、元気づくり推進協議会の2019年度事業の一つとしてケアプラザが中心となり、まちなかプロジェクトメンバーと共同して行うことを協議会にて会員の方々から承諾を得ました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

相談内容に応じて職員が役割分担・連携し、民生委員との「地域ケア会議」で地域の社会資源の確認や課題の共有に取り組めました。

地域支援チーム会議で地域課題の共有や抽出に取り組み、関係機関等と連携し支援に取り組めました。

②実態把握

エリア内の行事や会合等に参加し、民生委員や老人会等との情報交換、収集に努め、必要に応じて行政に情報提供し連携に努めました。

積極的に訪問し、本人家族の状況や住環境等を確認して提案助言を行いました。

③総合相談支援

・突然の来所、電話や訪問等、状況に応じた方法でニーズや希望を把握し、迅速な対応に努めました。また、初回相談に関しては2人対応とし、地域包括支援センター内で情報共有に努めました。

・介護保険の「出張相談」を開催しました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度の普及啓発の為、権利擁護講座(成年後見制度・遺言の書き方)を2回開催しました。

日常の相談等で振り込め詐欺の通知文等を実際に受け取った人が窓口を持参された事もあり、サロンや集い等の場で注意喚起を行いました。

②高齢者虐待への対応

中区役所・民生委員・ケアマネジャー等関係する機関と連携し、虐待の早期発見、把握に努め、区内包括支援センター合同で行った虐待に関するアンケートを実施しました。

認知症サポーター養成講座にて、包括支援センターの役割と事業紹介を行いました。

③ 認知症

認知症のご家族を介護している方を対象に「介護者のつどい」を1月に開催しました。日々の関わりから個別にお声掛けし、参加していただけるように依頼しました。

トロミ剤を紹介し、安全に食べられる工夫を提案しましたが、仰臥位では唾液でも誤嚥する可能性があるかと共有しました。

個別訪問を通じて介護者からの相談を受け、介護者のサポートを行っています。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域のサロン等の事業に参加し情報提供や住民支援に努めるとともに、民生委員とケアマネジャーの交流会を開催し連携強化を図りました。

支援困難ケースなど地域住民、民生委員、関係機関と連携を図り、地域支援チーム会議を通して、地域資源の確認や課題の抽出、関係機関との連携構築に努めました。

② 医療・介護の連携推進支援

第6地区の医療機関に伺い、パンフレットを利用してケアプラザの役割を説明し、困難事例等への支援連携を目的とし、関連検討会、会議に出席し、区内の医療機関、区高齢支援担当、包括と介護、医療の連携に努めました。

また、エリア外の居宅事業所と医療機関へ同行訪問し情報交換を行いました。

③ ケアマネジャー支援

個別にケアマネジャーからの相談対応や同行訪問等を行い指導・助言等により後方支援をしました。

区内地域包括支援センター共催でケアマネサロンを開催し、主任ケアマネジャーには新任・就労予定ケアマネジャー実習の講師を依頼し、指導的立場としてのスキルアップと関係作りの機会として支援しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

包括レベル地域ケア会議では民生委員とケアマネジャーの参加により資源マップを作成する事で可視化して共有できました。

個別ケース会議では地域から孤立しつつある単身の高齢者が、地域住民の協力にて地域でその人らしい生活を送る為にどのような支援が必要かをテーマに開催し、町内会役員や隣人、民生委員、郵便局職員の関係者と支援について検討しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

訪問を主として対象者やご家族と十分にコミュニケーションを取り、傾聴と状況確認により適切な対応を心がけました。

介護保険サービスのみならずセルフケアへの助言やインフォーマルサービス、予防事業を紹介し、セルフケアの重要性について理解いただけるよう努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

第6地区での催しや集会等に出向き、介護予防事業の紹介やお誘いを行いました。年8回ロコモ予防、口腔、栄養と食事等に関する講座を開催、またケアプラザ祭りやサロンでの医療相談を行い、セルフケアや生活習慣の見直し等介護予防の重要性や必要性の理解を深めました。

第6地区初となる元気作りステーションが立ち上がったため、継続して介護予防に向けて取り組むことができるよう隔月で訪問し、後方支援に努めています。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設全体の維持管理を専門の管理業者に委託し、定期的に保守管理を行いました。
備品については、棚卸しによる備品内容の確認および、不具合についてはその都度状況確認し、適切な管理に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

職員全体が施設の運営状況を把握しコスト意識の向上を図るため、予算の執行状況を毎月確認し、必要に応じて職員会議にて状況報告しました。

デイサービスの送迎車両でのアイドリングストップの奨励を実施。コスト削減と共に環境負荷の低減を図りました。

(3) 苦情受付体制について

身近な相談窓口として、総合相談窓口（社会福祉士）を配置し、相談の受付を行いました。

外部苦情受付機関として、「ご意見ダイヤル」「かながわ福祉サービス適正化委員会」等について掲示による広報を行いました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

開館・日中・閉館時に施設内の点検を実施し、夜間の安全管理は委託業者による遠隔管理を行いました。

平常時から、安全管理の意識向上、AEDの動作確認、避難経路の確認等安全管理を行いました。

（防犯）

施設周囲に不審物が無いか確認し、ゴミ等の清掃を適宜行いました。

管轄の警察署（山手警察）と連携し、防犯等の啓蒙活動を実施しました。

施設の施錠時に最終確認のチェックを徹底し、安全確認をました。

（防災）

定められた定期の避難訓練を防災マニュアルに基づき実施し、利用者にも参加していただきました。

(5) 事故防止への取組について

定例のリスクマネジメント委員会にて、事業所内外での事故の検証や、再発予防対策の検討及び、スキルアップ研修や個人情報等の取扱い等を議題に、デイサービス事業のパートスタッフも順番に参加する体制に変更し、全体の問題として取組みました。

朝礼や会議では報道発表になった事故事例を共有し、業務に活かしました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いについて、全職員に対して研修を実施。また、全職員へのチェックリストの実施により注意喚起を行いました。

個人情報漏洩事故防止のため、FAX送信時及び連絡ノートの授受は二者確認で対応する事、また、個人情報持ち出しチェック表での管理等を実施しました。

(7) 情報公開への取組について

広報紙「瓦版」を年3回、事業案内は毎月発行しました。町内会掲示板をはじめ、マンションへの持込み等、エリア内の多くの方に情報を伝えられるように取組みました。

箕沢地域ケアプラザのホームページによる事業案内、イベント案内等プラザ運営情報の公開を行いました。

介護サービス情報の公表制度により、介護保険事業の実施状況を公開しました。また、第三者評価を受審しました。

ホームページをウェブアクセシビリティ対応にする為、新たなホームページ作成に向けて法人全体で取組みました。

(8) 人権啓発への取組について

法人研修として「福祉職の価値と倫理」を題材に研修会を実施し、人権と権利擁護の視点を再確認しました。また、ビデオライブラリーを活用してハラスメントや個人情報の取扱いの振り返りを実施し、コンプライアンスの基本と実践をテーマとした研修を実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

デマンド管理により、電力に対して省エネを意識して節電に努めました。地元小学校と協力してエコキャップ、ベルマーク運動に参加しました。インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 常勤1名
担当職員 常勤3名（1名は管理者と兼務）

《目標に対する成果等》

訪問を主として対象者やご家族と十分にコミュニケーションを取り、傾聴と状況確認により適切な対応を心がけました。

介護保険サービスのみならずセルフケアへの助言やインフォーマルサービス、予防事業を紹介し、セルフケアの重要性について理解いただけるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

-
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護保険サービスのみならず、ケアプラザの自主事業や集いの情報を提供し、インフォーマルサービスの利用についても積極的に参加をお勧めしました。

介護保険法では3か月に1回の訪問と提示されていますが、単身者や高齢者世帯が多いため、毎月訪問する事で状況把握に努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
76	82	79	83	84	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
86	86	81	85	88	89

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤兼務 1 名 (管理者兼務)
非常勤専従 1 名

《目標に対する成果等》

○介護保険法による、公正・中立・利用者本位の原則に則り、利用者ニーズに沿ったプランの立案に努め、アセスメント研修、ケアマネジメント従事者研修を受講しスキルアップに努めました。

○迅速な対応、的確な支援を柱に利用者とそのご家族との信頼関係を大切にし、常により良いサービスの提供に努め、毎月第二月曜日実施する居宅会議にて、ご利用者様の支援経過を報告している。会議には地域包括支援センターの専門職もおり、意見やアドバイスをいただき的確な支援に繋がりました。

平成 30 年度実施した利用者アンケートでは 9 割の方より「適切な支援をして頂いている」との評価をいただきました。

○利用者が住み慣れた地域の中でその人らしく安心して生活を送っていただく為に、サービス担当者会議を通じ本人のご意向を支援者で確認。支援者がチームとなる事で変化が起きた時にいち早く必要な支援を提案することができました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○地域に根ざした支援をもとに、地域ケアプラザを利用されている方がいざ介護が必要になった時、安心して介護保険を利用できるようケアプラザの関係機関との連携を図り継続的な支援を行っています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
36	35	37	34	35	36
10月	11月	12月	1月	2月	3月
36	38	42	39	40	38

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	647	円
（要介護2）	786	円
（要介護3）	897	円
（要介護4）	1,008	円
（要介護5）	1,120	円
● 食費負担	800	円

●
※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：40 ～ 15：45 （半角で入力 例 9：00～15：00）

《職員体制》

管理者1名、生活相談員5名、看護師4名、機能訓練指導員4名、介護スタッフ18名

《目標に対する成果等》

身体機能の維持・向上を目指し、サービス計画に沿った支援を提供しています。利用者が主体的に参加し、社会参加への意欲を目的とした個別プログラムや季節に合わせた行事を展開し、無理なく生活機能の維持・向上につながる支援をしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

集団プログラムは、作品作りやゲームで勝負等を楽しむ事ができます。個別プログラムとしては読書や色鉛筆画、リハビリ等の機能訓練活動があります。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
767	794	788	848	852	797
10月	11月	12月	1月	2月	3月
814	797	796	765	710	868

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 5,000 円
 - （要支援1） 2,033 円
 - （要支援2） 2,033 円
- 食費負担 800 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:40 ~ 15:45 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者1名、生活相談員5名、看護師4名、機能訓練指導員4名、介護スタッフ20名

《目標に対する成果等》

介護予防サービス計画書に基づいて予防通所介護計画書を作成し、社会参加への意欲を目的とした個別プログラムや季節に合わせた行事を展開し、無理なく生活機能維持・向上につながる支援をしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

集団プログラムは、作品作りやゲームで勝負等を楽しむ事ができます。個別プログラムとしては読書や色鉛筆画、リハビリ等の機能訓練活動があります。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
73	73	68	92	79	88
10月	11月	12月	1月	2月	3月
73	84	71	64	73	88

平成30年度「箕沢地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,785,123	1,673,386	21,458,509	19,976,254	1,482,255	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	75,640	△ 75,640	
雑入	0		0	4,580	△ 4,580	
印刷代	0		0	4,420	△ 4,420	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理充当分)	0		0	160	△ 160	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)		3,990,000	3,990,000		3,990,000	
その他 (提案時控除 法人負担分)	2,103,866	△ 1,843,973	259,893		259,893	
収入合計	21,888,989	3,819,413	25,708,402	20,056,474	5,651,928	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,258,580	0	11,258,580	11,674,140	△ 415,560	
本俸	7,921,580		7,921,580	7,756,533	165,047	
社会保険料	735,000		735,000	1,192,372	△ 457,372	
手当計	2,268,000		2,268,000	2,412,587	△ 144,587	
健康診断費	57,000		57,000	55,530	1,470	
勤労者福祉共済掛金	159,000		159,000	139,062	19,938	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	118,000		118,000	118,056	△ 56	
その他			0	0	0	
事務費	5,051,123	0	5,051,123	956,925	4,094,198	
旅費	2,000		2,000	3,847	△ 1,847	
消耗品費	250,000		250,000	209,776	40,224	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費			0	27,311	△ 27,311	
通信費	165,000		165,000	203,569	△ 38,569	
使用料及び賃借料	3,991,123	0	3,991,123	0	3,991,123	
横浜市への支払分	3,990,000		3,990,000	0	3,990,000	
その他	1,123		1,123	0	1,123	
備品購入費	50,000		50,000	189,261	△ 139,261	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	68,000		68,000	64,538	3,462	
職員等研修費	3,000		3,000	375	2,625	
振込手数料	7,000		7,000	5,215	1,785	
リース料	57,000		57,000	107,476	△ 50,476	
手数料			0	0	0	
地域協力費	20,000		20,000	22,000	△ 2,000	
その他	438,000	0	438,000	123,557	314,443	
事業費	532,000	0	532,000	365,585	166,415	
運営協議会経費	42,000		42,000	2,047	39,953	
指定管理料充当 事業	490,000		490,000	363,538	126,462	
管理費	4,147,000	1,673,386	5,820,386	3,979,866	1,840,520	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	1,305,000	0	1,305,000	1,412,918	△ 107,918	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,160,000		1,160,000	0	1,160,000	
修繕費	474,000	1,673,386	2,147,386	2,146,027	1,359	
機械警備費	278,000		278,000	0	278,000	
設備保全費	880,000	0	880,000	0	880,000	
空調衛生設備保守	302,000		302,000	0	302,000	
消防設備保守	46,000		46,000	0	46,000	
電気設備保守	37,000		37,000	0	37,000	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	0	20,000	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	475,000		475,000	0	475,000	
共益費			0	0	0	
その他	50,000		50,000	0	50,000	
公租公課	900,286	0	900,286	933,931	△ 33,645	
事業所税			0	0	0	
消費税	900,286		900,286	933,931	△ 33,645	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	21,888,989	1,673,386	23,562,375	17,910,447	5,651,928	
差引	0	2,146,027	2,146,027	2,146,027	0	

自主事業費収入		75,640	75,640	0	75,640	自主事業への参加料等
自主事業費支出		363,538	363,538	0	363,538	自主事業経費
自主事業収支	0	△ 287,898	△ 287,898	0	△ 287,898	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0		0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0		0	

平成30年度「養沢地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,698,000	0	23,698,000	25,437,063	△ 1,739,063	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	150,645	355	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,362,710	426,290	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）		125,637	125,637		125,637	
収入合計	29,638,000	125,637	29,763,637	30,950,418	△ 1,186,781	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,878,227	0	25,878,227	23,146,906	2,731,321	
本俸	13,361,227		13,361,227	11,886,886	1,474,341	
社会保険料	2,719,000		2,719,000	2,952,531	△ 233,531	
手当計	8,795,000		8,795,000	7,589,219	1,205,781	
健康診断費	90,000		90,000	39,094	50,906	
勤労者福祉共済掛金	497,000		497,000	328,188	168,812	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	416,000		416,000	350,988	65,012	
その他			0	0	0	
事務費	950,000	0	950,000	681,101	268,899	
旅費	90,000		90,000	67,875	22,125	
消耗品費	110,000		110,000	107,251	2,749	
会議賄い費			0	8,168	△ 8,168	
印刷製本費			0	16,287	△ 16,287	
通信費	160,000		160,000	159,238	762	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	139,136	△ 139,136	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	17,155	2,845	
職員等研修費			0	8,383	△ 8,383	
振込手数料	3,000		3,000	1,862	1,138	
リース料	58,000		58,000	105,609	△ 47,609	
手数料			0	0	0	
地域協力費	30,000		30,000	21,000	9,000	
その他	479,000	0	479,000	29,137	449,863	
事業費	1,200,000	0	1,200,000	5,938,848	△ 4,738,848	
協力医	630,000		630,000	399,000	231,000	
指定管理料充当 事業（包括）	110,000		110,000	26,493	83,507	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	150,645	355	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	5,362,710	△ 5,053,710	
管理費	1,609,773	0	1,609,773	1,057,926	551,847	
建築物・建築設備点検	0		0		0	
光熱水費	400,000	0	400,000	375,585	24,415	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	310,000		310,000		310,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	
機械警備費	80,000		80,000		80,000	
設備保全費	170,000	0	170,000	0	170,000	
空調衛生設備保守	50,000		50,000		50,000	
消防設備保守	15,000		15,000		15,000	
電気設備保守	10,000		10,000		10,000	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	90,000		90,000		90,000	
共益費			0		0	
その他	523,773		523,773		523,773	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,638,000	0	29,638,000	30,824,781	△ 1,186,781	
差引	0	125,637	125,637	125,637	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名：箕沢地域ケアプラザ

(単位：千円)

	科目	介護予防支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2,200	1,976	224	99,200	98,538	662	6,500	5,813	687
	その他	0	0	0	3,850	5,070	-1,220	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0
	事業・負担金収入			0	1,360	1,673	-313			0
	サービス区分間繰入金収入			0	2,400	3,263	-863			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0	90	134	-44			0
	収入合計(A)	2,200	1,976	224	103,050	103,608	-558	6,500	5,813	687
支出	人件費			0	64,523	65,642	-1,119	6,500	5,813	687
	事務費			0	5,915	4,330	1,585			0
	事業費			0	10,015	9,482	533			0
	管理費			0	13,750	12,694	1,056			0
	その他	2,200	1,976	224	8,487	11,228	-2,741	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0
	サービス区分間繰入金支出	2,200	1,976	224	7,208	9,859	-2,651			0
				0			0			0
			0			0			0	
その他			0	1,279	1,369	-90			0	
	支出合計(B)	2,200	1,976	224	102,690	103,376	-686	6,500	5,813	687
	収支 (A) - (B)	0	0	0	360	232	128	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
箕沢サロン	<p>《目的》 高齢者の健康維持・閉じこもり防止・仲間作りを目的に行いました。</p> <p>《内容》 手芸、麻雀、囲碁、将棋、塗り絵コーナーを設置しました。麻雀はご希望者が多く、1卓から2卓に増やしお好きなコーナーで過ごしていただき、出入り自由のサロン形式です。手芸コーナーは必要に応じ、材料費100円程度徴収しました。</p>	毎月第4水曜 (年間12回実施)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
みのさわ子育て 応援団	<p>《目的》 孤独な育児とならず、地域で安心して楽しく子育てができることを目的とし、相談援助や情報提供を行いました。</p> <p>《内容》 出入り自由なサロン形式とし、子育て支援者主任児童員、地域ボランティアケアプラザが連携し関わりました。専門職の協力を得て歯科指導・栄養指導・相談、情報提供を行いました。</p>	毎月第2木曜 (年12回実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティヨガ	<p>《目的》 妊娠時の不安を解消して安心して出産を迎えられるよう支援しました。また、産後、気軽に相談できる仲間を作れるように取り組みました。</p> <p>《内容》 第1子妊娠15週以上の中区在住妊婦対象としました。助産師によるヨガと相談を行い、安心して出産を迎えられるよう、助産師からの指導と、産後困った時の相談できる友達作りを行いました。</p>	毎月1回 (年間12回実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホップステップ 夏休み (小・中) 冬休み	<p>《目的》 長期休暇中の家族のレスパイとケア、障害児の居場所作り、地域住民の障害理解を目的に実施しました。</p> <p>《内容》 個別支援学級を対象とした長期休暇中の障害児預かり事業で、レクレーションプログラムの実施、昼食・おやつの提供をしました。</p>	夏期休暇中 冬季休暇中1回ず つ 実施

平成30年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
色えんぴつ絵画教室	<p>《目的》 高齢者の趣味の啓発、仲間作りを目的に行いました。</p> <p>《内容》 色えんぴつを使った絵画教室で、講師が作成した下地に色鉛筆で彩色をしました。箕沢ケアプラザ祭りの時期に合わせ、館内で作品の展示を行いました。</p>	毎月第2・4日曜 (年間23回実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みのさわペタンク広場	<p>《目的》 高齢者の仲間作り、閉じこもり予防、メタボリックシンドローム予防のために行いました。</p> <p>《内容》 さわやかスポーツ普及委員を講師に迎えての室内ペタンクで、参加者の人数によりチームを編成し、ゲーム形式で競い合いました。</p>	毎月第3火曜 (年間12回実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
箕沢男の料理会	<p>《目的》 男性の社会参加の場の提供、仲間作りを目的としました。</p> <p>《内容》 身近な食材で作る料理教室です。電子レンジの上手な活用法なども紹介し、負担のかかる料理を、気軽に楽しくできる提案をしました。調理実習の後は、皆さんで食事し、親睦を深めました。</p>	毎月第1, 2月曜を 開催日の基本とし (年間13回実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
八起会	<p>《目的》 高齢者の健康維持・転倒骨折予防・閉じこもり防止・仲間作りを目的に行いました。</p> <p>《内容》 高齢者を対象とした座位での転倒骨折予防体操教室として、ラジオ体操、ヨガ、筋力保持の運動を取り入れました。水分補給の休憩をはさみ、ボールを使った運動や歌を使ったプログラムをおこないました。</p>	毎月第2・4火曜 (年間24回)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひまわり会	<p>《目的》 介護予防講座終了後の継続したサークル活動の円滑な運営の後方支援を目的としていました。</p> <p>《内容》 映像を見ながら、体操を行いました。月に1度体育協会より講師を迎え、体操の後茶話会をもちました。</p>	毎週金曜日実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
イキイキ会	<p>《目的》 人と関わり、情報交換をしながらの認知症予防を目的としました。</p> <p>《内容》 漢字ドリル、数字版、計算ドリルをおこない終了後に茶話会をもちました。</p>	毎月第3木曜日 (年間12回実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボラたま	<p>《目的》 夏期障害児余暇支援事業へのボランティア発掘を目的とし開催しました。余暇に関わらず、特技を生かした他事業への協力も視野に入れご案内をしました。</p> <p>《内容》 金沢区のNPO団体わっしょいを講師に迎え、発達障害等のロールプレイを通じた体験型プログラムを行いました。講座終了後に、各ケアプラザから余暇支援事業の紹介を行い、ボランティア活動につながるよう努めました。</p>	7月31日（水）実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おそうじ交流会	<p>《目的》 貸館登録団体の交流と、ボランティア活動の契機となること、異世代交流を目的とし行いました。</p> <p>《内容》 貸館団体へ呼びかけ、貸し室のテーブルや椅子、おもちゃなどのお掃除をしながら交流をはかり、お掃除後に茶話会を持ちました。</p>	12月4日 1回実施

平成30年度 自主事業報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢期相談	《目的》 乳幼児期だけでなく、小学校入学後も継続して相談支援ができるよう、また、地域で安心して子育てができるように取り組みました。 《内容》 小学校入学前より相談を受付ましたが（障害児含む）学齢期のみの相談支援となりました。	毎週火曜日 午前中

事業名	目的・内容	実施時期・回数
振り込め詐欺被害防止への取り組み	《目的》 振り込め詐欺の被害拡大を止めることを目的に行いました。 《内容》 山手警察署と連携し、広報誌等での呼びかけや、年金支給日に、啓発チラシの配布をしました。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
マタニティヨガ	第1子妊娠15週以上	66816	地活	66816			66816		
	57人		包括						
	0		介護						
			生活						
みのさわ子育て応援団		20652	地活	20652			16705		3947
	354人		包括						
	0		介護						
			生活						
箕沢サロン	概ね60歳以上	21041	地活	5541	15500			21041	
	284人		包括						
	手芸のみ材料費100円		介護						
			生活						
色えんぴつ絵画教室	概ね60歳以上	40000	地活	40000			40000		
	287人		包括						
	0		介護						
			生活						
箕沢男の料理会	概ね60歳以上	56164	地活	364	55800			56164	
	76人		包括						
	600円		介護						
			生活						
ホップステップ	11人	6008	地活	1668	4340				6008
	500円		包括						
			介護						
			生活						
お気軽ランチ	概ね60歳以上	0	地活						
	38人		包括						
	0		介護						
			生活						
八起会	概ね60歳以上	0	地活						
	609人		包括						
	0		介護						
			生活						
箕沢ペタンク広場	概ね60歳以上	0	地活						
	113人		包括						
	0		介護						
			生活						
箕沢ケアプラザ祭り	地域	140598	地活	140598				140598	
	200人		包括						
	0		介護						
			生活						
おそうじ交流会	貸館利用者	2400	地活	2400					2400
	18人		包括						
	0		介護						
			生活						
ボラたま	高校生以上	2500	地活	2500			2500		
	4人		包括						
	0		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ハローよこはま	地域		地活	902				902
			包括					
			介護					
			生活					
イキイキ会	おおむね65歳以上	0	地活					
	77人		包括					
			介護					
			生活					
福祉用具貸し出し	地域	0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
図書貸し出し	地域	0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
親子でエクササイズ	乳幼児とその保護者	0	地活					
	29人		包括					
			介護					
			生活					
夏休み囲碁将棋	小学生	3698	地活	3698				3698
	72人		包括					
			介護					
			生活					
楽しく色えんぴつ	小学生	0	地活					
	7人		包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。